

科目名	発明工学 Invention Engineering	科目コード	A0310
-----	-------------------------------	-------	-------

学科名・学年	専攻科・2年
担当教員	田口 裕二郎（電気電子システム工学科）
単位数・区分	2単位・選択
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義16，演習14，その他0】
教科書	工業所有権標準テキスト(特許編)、発明協会
補助教材	
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

特許は、企業の存亡をも左右する重要な経営戦略上の資産である。また、学生諸君が、将来、個人的に重要な発明をなし得た場合、特許の知識無くして、経済的利益の獲得は困難であると思われる。このような背景から、本科目では、特許の基礎知識、即ち、特許の仕組みや出願方法などについて学ぶ。また、特許明細書作成演習を通じて、特許出願の実務を体験する。

関連する科目：地域産業と技術(前年度履修)、学外実習(前年度履修)、法学(4年次履修)

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(C)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
特許制度の概要が分かる	50%	C2
特許明細書作成の基礎が分かる	50%	F2

【C．履修上の注意】

講義聴講を前提として評価するので、欠席回数 1/3 以上で不合格とする。また、遅刻 3 回につき 1 回の欠席として扱うので注意すること。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格点とする。

定期試験（40%）【内訳:前期末 40%】

その他の試験（0%）

レポート（30%）【課題に対する実施状況 30%】

その他（30%）【特許明細書作成演習 30%】

【E . 授業計画・内容】

前期

回	内容	課題
1	イントロダクション	なし
2	特許制度、特許要件(産業上の利用性)	特許法条文についての課題
3	特許要件(新規性、進歩性、先願)	特許法条文についての課題
4	新規性喪失の例外規定、特許出願(クレームの多項性)	特許法条文についての課題
5	最近の特許をめぐる話題	特許法条文についての課題
6	特許出願の流れ	特許法条文についての課題
7	特許出願書類、特許明細書作成演習(1)・・・発明ストーリー-	明細書作成演習での不足分を自習せよ
8	特許明細書作成演習(2)・・・願書及び特許請求の範囲	明細書作成演習での不足分を自習せよ
9	特許明細書作成演習(3)・・・明細書(発明の詳細な説明)	明細書作成演習での不足分を自習せよ
10	特許明細書作成演習(4)・・・出願書類完成	特許電子図書館(IPDL)について予習せよ
11	特許電子図書館(IPDL)の活用法(1)・・・端末室での演習	IPDL に関する課題
12	特許電子図書館(IPDL)の活用法(2)・・・端末室での演習	IPDL に関する課題
13	特許電子図書館(IPDL)の活用法(3)・・・端末室での演習	IPDL に関する課題
14	まとめ	試験勉強をせよ
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	試験解答について復習せよ